



～あんず通信では感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

7月：文月（ふみづき、ふづき）

7月7日は七夕です。晴れた日は空の星（織姫、彦星）を眺めてみましょう。夏のお盆にはご先祖様の供養、迎え火、送り火を焚きます。地域によって7月（13-16日）だったり8月だったりします。

【感染症だより】

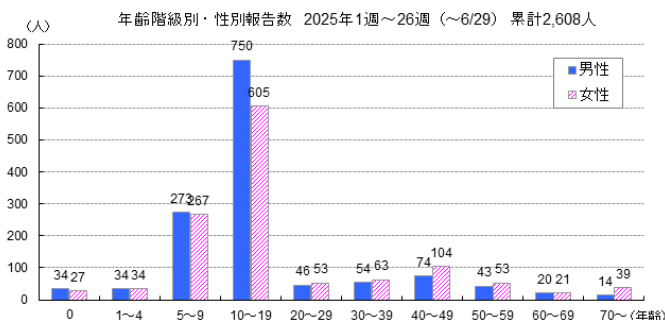
～とびひ（伝染性膿痂疹）について～

夏になると皮膚のトラブルが増えてきます。掻き壊したところがジクジクして、とびひになってしまうことがあります。とびひの原因はブドウ球菌や溶連菌が皮膚に感染することによります。水ぶくれになったり、かさぶたになったりします。接触によって伝染しますので、露出している皮膚に出来ている場合は、ガーゼや包帯などで保護することで他に移さないようにしましょう。ひどい場合には全身の皮膚が真っ赤になり、ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群（SSSS: Staphylococcus Scalded Skin Syndrome）と呼ばれる病気となって入院が必要になることもあります。

夏はたくさん汗をかいて、汗疹（あせも）が出来やすい、あるいは、虫刺されたところを掻いてしまってジクジクしてしまうなど、皮膚のトラブルが増えます。とびひにならないようスキンケアを心がけましょう。汗疹は、首回りやおでこ、胸や背中にてきやすいものです。たくさん汗をかいたら、水で洗って汗疹ローション（市販あり）をつけてあげましょう。湿疹も、掻いているうちにとびひになってしまうかもしれません。塗り薬や飲み薬でしっかりケアしていきましょう。

～百日咳について～

ニュースなどでも報道されていますが、今回5年ぶりに流行しています。百日咳に多く罹っている年齢は、5-9歳、10-19歳で、予防接種の効果が出ている0-4歳は比較的少ないです。0歳でも、2か月未満の予防接種を受けてない乳児は重症化の危険がありますので、小さな赤ちゃんのいらっしゃるご家庭では注意しましょう。



※ 夏休みのお知らせ ※

下記の期間は閉室となります

病児保育室あんず夏休み：8月16～24日

ご不便をおかけしますがよろしくお願い致します

しみず小児科・内科クリニック：8月17～24日夏季休診

★8月25日から通常どおり診療致します

～病児保育室あんず求人のお知らせ～

常勤＆パートの保育士さんを探しています。詳細はホームページまたは求人サイトをご覧ください。

表：6月しみず小児科・内科クリニック
で診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	溶連菌	122
2	胃腸炎(7例/3月2含む)	102
3	リンゴ病(伝染性紅斑)	14
4	突発性発疹	6
5	咽頭炎/ウイルス(プール熱)	5
5	手足口病(3)・ヘルパンギナ(2)	5
7	RSウイルス	3
8	とびひ(伝染性膿痂疹)	2
8	水ぼうそう(水痘)	2
10	新型コロナウイルス	1
10	おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)	1

検査は実施していないですが、百日咳、マイコプラズマ感染症とみられる患者さんも数名受診されております。

あんず通信バックナンバーはクリニック
ホームページからご覧になれます



～あんずからのお願い～

★空き状況はWebで

ホームページから確認出来ます。ご予約は前日または当日**必ずお電話で（042-513-4158）**お願い致します。

👉 空き状況はこちらから



★キャンセルをされる場合

留守番電話でも構いませんので当日 8:30 までに必ずご連絡をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

★ご予約の際の注意事項

診察を受けた**病名**によって、お部屋割りをしています。なるべく同じ病気（感染症）のお子様が同じお部屋にすることで、子ども同士の伝染を防ぎます。また、感染症の接触歴、流行状況等をお聞きしております。ご協力をお願い致します。

★保険資格確認について

入室後必要に応じて医師が診察をします。健康保険証又は資格確認書をお持ちください。どちらもお持ちでない場合、マイナ保険証の方はスマホでマイナポータルのページを確認させていただきます。

